

# 日本マクロエンジニアリング学会 第32回年次研究大会

主催：日本マクロエンジニアリング学会（JAMES）  
後援：拓殖大学  
NPO 法人マクロエンジニアリング研究機構  
（RIMEP）

原油をはじめとした資源価格も底打ちした模様ですが、一段と上昇するかは予断を許さない状況が続いています。他方、日本マクロエンジニアリング学会が登録している日本学術会議でも Trans-disciplinary を合い言葉として学術研究の実社会への応用が求められております。今回の研究大会では循環型社会、アベノミクス、円相場、温室栽培へのバイオマス導入、漁業資源について発表・討論する予定ですのでお誘いあわせの上ご参加ください。

**日 時** 2017年3月25日(土) 15:00~18:00

**場 所** 拓殖大学 文京キャンパス C館 406室 (最寄り駅:茗荷谷)

**参加費**

一般:5,000円(初回に限り一年間、本学会準会員になれる特典あり)  
本学会員:0円、有効期限内の学生証を掲示いただければ無料

**プログラム**

受付 14:45~15:00 (ポスター閲覧)  
開会あいさつ 15:00~15:05 茂木 創 理事長

**第1部:** 東北大学からのご発表(各 発表 25分間、質疑応答 5分間、演者交代時間込)

- 15:05 自動車産業における拡大生産者責任原則の国際比較-自動車リサイクルを中心に-(仮) ◎範 耕杏、王 燦堯、劉 庭秀、Erdenedalai Baatar (東北大学大学院国際文化研究科)  
15:35 自動車用バッテリーの国際資源循環の意義と課題(仮) ◎劉 庭秀、Erdenedalai Baatar、王 燦堯 (東北大学大学院国際文化研究科)、戸敷 浩介 (宮崎大学)

**第2部:** ポスター紹介(各 発表 5分間、質疑応答 5分間、演者交代時間込)

- 16:05 Energy Crisis in Ghana: Challenges and Recommendations (仮) — ◎AKWASI BOBIE-ANSAH, LEONARD LARBI AMOAH, ANTHONY NYAMEKEH-ARMAH ADJEI, SELMA SUMAYA SALIMA AWUMBILA and JEONGSOO YU (東北大学大学院国際文化研究科)  
16:15 日本の小型家電リサイクル制度運用における課題分析 齋藤 優子 (東北大学大学院環境科学研究科)、◎劉 庭秀 (東北大学大学院国際文化研究科)

**第3部:** 競争性及び排除性に関するご講演(各 発表 25分間、質疑応答 5分間、演者交代時間込)

- 16:25 アベノミクス・円相場・日本経済(仮) ◎石田 りか (拓殖大学政経学部経済学科3年)、茂木 創(拓殖大学)  
16:55 農業分野のCO2排出削減の可能性についての一考察~温室栽培におけるバイオマス導入に着目して~ ◎八木田 浩史、原口 敬太 (日本工業大学)  
17:25 東日本大震災津波におけるサケの資源回復状況と定置網漁業への影響 ◎新田 義修 (岩手県立大学)

閉会あいさつ 17:55~18:00 吉野 文雄 会長(拓殖大学)

## 日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 拓殖大学政経学部 茂木研究室  
電話/FAX 03-3947-9204 Eメール <hmotegi@ner.takushoku-u.ac.jp>  
UEL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/>



### <沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。